



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月14日

上場会社名 株式会社ベクトル 上場取引所 東
 コード番号 6058 URL http://www.vectorinc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 西江 肇司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 山本 高太郎 TEL 03-5572-6080
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	7,326	18.9	1,156	23.9	1,139	30.8	646	41.6
27年2月期第3四半期	6,161	26.9	933	40.8	871	30.9	456	27.1

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 627百万円 (33.1%) 27年2月期第3四半期 471百万円 (31.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	43.57	43.27
27年2月期第3四半期	34.20	33.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	8,026	6,134	75.3	406.69
27年2月期	7,106	5,627	78.1	374.15

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 6,044百万円 27年2月期 5,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年2月期	—	0.00	—		
28年2月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,470	25.9	1,700	35.5	1,640	38.2	900	36.5	60.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期3Q	14,862,600株	27年2月期	14,836,200株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	48株	27年2月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期3Q	14,839,786株	27年2月期3Q	13,349,082株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は内外の状況変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。なお、本資料の予想に関する事項は添付資料3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が見られるなど、穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、欧州における財政問題と政情不安、中国をはじめとする新興国の成長率鈍化により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような市場環境のもと、当社グループにおいては、「アジアNo. 1のPRグループになる」という目標の達成に向け、国内外を問わずPRサービスに対する需要増や当社グループのサービス強化等を背景に引き続き堅調に成長を実現いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,326百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益は1,156百万円（前年同期比23.9%増）、経常利益は1,139百万円（前年同期比30.8%増）、四半期純利益は646百万円（前年同期比41.6%増）となりました。

なお、当社グループは、PRサービスとは別に、新商品開発も見据えた企画等にも随時取組んでおり、8月には当社の新卒採用のための施策としてPR会社を舞台にした映画「東京PRウーマン」を製作・公開し、タイアップ映画を活用したストーリープレイズメントフィルム事業を開始するに至っています。一方、9月に当社主催のイベントとして「～世界の朝ごはん～ 朝食フェス2015」を開催しました。本イベントにおいては、開催期間中に関東・東北豪雨による天候不順もあり一部日程を中止とするなどしたため、来場者数が想定を大きく下回ることとなり、当該イベントに関連して126百万円の損失が発生しております。

セグメント業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分変更を行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

・PR事業

PR事業においては、当社グループの中核事業である戦略PRのほか、急速に需要を伸ばす動画コンテンツやアドテクノロジーを活用したPR施策をサポートするサービスを強化するなど、引き続き進化を続ける市場環境にいち早く対応しながら顧客の「いいモノを世の中に広める」ための活動を国内外を問わず幅広くサポートしました。

国内においては、戦略PRを中心に既存事業の各分野で引き続き順調に業績を伸ばしましたが、付加価値の高い新たなサービスの開発もすすめました。当第3四半期連結累計期間においては、株式会社ビデオワイヤーが8月に開始した動画リリースサービス「NewsTV」の広告配信サービスが順調に推移しました。顧客が求める「いいモノを世の中に広める」ためのより効果的な手法として、従来のPRサービスとあわせて今後も需要が伸びていくものと見込んでおります。

また海外においても、顧客のアジア・ASEAN地域におけるPRサービスに対する需要を積極的に取り込み、海外進出をすすめる日系企業や海外において日本の商材をアピールしたい官公庁等の様々なPR施策をサポートしました。

PR事業においては、上述の9月に開催した「～世界の朝ごはん～ 朝食フェス2015」に関連する損失を計上しておりますが、全体としては引き続き順調な成長を遂げており、当第3四半期連結累計期間で実行したプロジェクト件数は1,071件となり、すでに前年度通期の実績件数を上回る水準となりました。

その結果、PR事業全体では、売上高は6,607百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益は975百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

・ニュースリリース配信事業

株式会社PR TIMESが手掛けるニュースリリース配信事業においては、ニュースリリース配信サイト「PR TIMES」を初めとした多数のWebサイトに顧客のニュースリリースを配信・掲載しております。「PR TIMES」は、10月には月間サイトPVが590万PV、月間配信本数5,511本、単日配信本数511本といずれも過去最高記録を更新するとともに、利用企業社数についても11月に11,000社を突破し、10,000社突破から3カ月間で1,000社増加となり順調に成長いたしました。

その結果、ニュースリリース配信事業における売上高は804百万円（前年同期比26.6%増）、営業利益は198百万円（前年同期比133.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ920百万円増加し、8,026百万円となりました。

流動資産におきまして当第3四半期連結会計期間末残高は、5,410百万円と前連結会計年度末に比べ617百万円の減少となりました。これは、現金及び預金が1,742百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が282百万円、未成業務支出金が66百万円増加したことが主な要因となります。

固定資産におきまして当第3四半期連結会計期間末残高は、2,616百万円と前連結会計年度末に比べ1,537百万円の増加となりました。これは、有形固定資産が100百万円、無形固定資産が117百万円、投資有価証券が1,242百万円、敷金及び保証金が58百万円増加したことが主な要因となります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ412百万円増加し、1,892百万円となりました。

流動負債におきまして当第3四半期連結会計期間末残高は、1,866百万円と前連結会計年度末に比べ413百万円の増加となりました。これは、短期借入金が713百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が61百万円、未払法人税等が103百万円減少したことが主な要因となります。

固定負債におきまして当第3四半期連結会計期間末残高は、25百万円と前連結会計年度末に比べ1百万円の減少となりました。これは、リース債務の減少2百万円が主な要因となります。

(純資産の部)

純資産におきまして当第3四半期連結会計期間末残高は、6,134百万円と前連結会計年度末に比べ507百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が512百万円増加したことが主な要因となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年4月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,616,009	1,873,711
受取手形及び売掛金	1,968,599	2,250,674
商品及び製品	-	63,032
未成業務支出金	37,568	104,101
繰延税金資産	98,332	101,987
その他	312,987	1,021,847
貸倒引当金	△5,260	△4,606
流動資産合計	6,028,237	5,410,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	110,935	183,174
機械装置及び運搬具	5,674	5,674
工具器具備品	173,924	246,686
リース資産	55,581	60,231
減価償却累計額	△168,383	△217,953
有形固定資産合計	177,732	277,812
無形固定資産		
のれん	29,668	81,356
ソフトウェア	141,675	153,697
その他	4,795	58,592
無形固定資産合計	176,139	293,646
投資その他の資産		
投資有価証券	535,714	1,778,410
敷金及び保証金	121,517	179,993
繰延税金資産	55,940	55,744
その他	11,479	30,538
投資その他の資産合計	724,651	2,044,688
固定資産合計	1,078,523	2,616,146
資産合計	7,106,760	8,026,894

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,107	293,398
短期借入金	48,502	761,926
未払法人税等	318,264	215,108
賞与引当金	129,638	87,391
リース債務	11,689	12,155
その他	589,318	496,288
流動負債合計	1,452,522	1,866,269
固定負債		
リース債務	23,643	21,495
その他	3,421	4,493
固定負債合計	27,065	25,989
負債合計	1,479,588	1,892,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,738,760	1,745,470
資本剰余金	1,698,760	1,705,470
利益剰余金	2,069,182	2,582,160
自己株式	-	△89
株主資本合計	5,506,702	6,033,012
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	44,306	11,453
その他の包括利益累計額合計	44,306	11,453
新株予約権	16,100	16,063
少数株主持分	60,063	74,106
純資産合計	5,627,172	6,134,636
負債純資産合計	7,106,760	8,026,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	6,161,146	7,326,563
売上原価	2,701,340	2,952,291
売上総利益	3,459,805	4,374,271
販売費及び一般管理費	2,525,979	3,217,444
営業利益	933,826	1,156,827
営業外収益		
受取利息	3,358	13,147
為替差益	1,504	12,895
投資事業組合運用益	4,348	442
その他	1,688	4,685
営業外収益合計	10,899	31,170
営業外費用		
支払利息	4,569	1,689
株式公開費用	38,915	-
持分法による投資損失	27,588	34,833
投資事業組合運用損	1,990	3,115
その他	371	9,055
営業外費用合計	73,436	48,694
経常利益	871,289	1,139,304
特別利益		
投資有価証券売却益	-	16,293
固定資産売却益	4,999	-
持分変動利益	8,024	-
特別利益合計	13,024	16,293
特別損失		
固定資産除却損	-	6,369
リース解約損	1,078	2,127
減損損失	40,725	-
その他	2,892	-
特別損失合計	44,697	8,497
税金等調整前四半期純利益	839,616	1,147,100
法人税等	388,517	486,553
少数株主損益調整前四半期純利益	451,099	660,546
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5,416	14,042
四半期純利益	456,515	646,504

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	451,099	660,546
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	20,512	△32,852
その他の包括利益合計	20,512	△32,852
四半期包括利益	471,611	627,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	477,027	613,651
少数株主に係る四半期包括利益	△5,416	14,042

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PR事業	ニュース リリース 配信事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,583,240	577,905	6,161,146	—	6,161,146	—	6,161,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,915	57,209	69,124	7,301	76,426	△76,426	—
計	5,595,155	635,115	6,230,271	7,301	6,237,572	△76,426	6,161,146
セグメント利益又は損失 (△)	855,870	85,262	941,133	△7,306	933,826	—	933,826

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材紹介事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PR事業」セグメントにおいて固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては15,794千円であります。

また、「ニュースリリース配信事業」セグメントにおいて固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては24,930千円であります。

2. 当第3四半期連結累計期間（自平成27年3月1日 至 平成27年11月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PR事業	ニュース リリース 配信事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,595,693	724,432	7,320,126	6,437	7,326,563	—	7,326,563
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,272	79,771	92,043	73,422	165,465	△165,465	—
計	6,607,965	804,203	7,412,169	79,859	7,492,029	△165,465	7,326,563
セグメント利益又は損失 (△)	975,559	198,979	1,174,539	△15,836	1,158,702	△1,875	1,156,827

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材紹介事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△1,875千円は、セグメント間取引消去△1,875千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

ニュースリリース配信事業を行う株式会社PR TIMESは、売上規模、組織規模ともに順調に拡大を続け、独立セグメントとして取り扱うに足る段階に至っていると判断されるため、第1四半期連結会計期間より「ニュースリリース配信事業」として独立させ、報告セグメントの区分を「PR事業」「ニュースリリース配信事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。